

～Re.design 小野 真二郎 寄稿～

【試打リポート】

マジカルハロウィン Trick or Treat!

株式会社 Re.design

代表取締役 小野 真二郎



大手パチンコチェーン店に12年勤務。店長・ブロック長・バイヤーを経て2011年に独立。2015年4月よりホール向けのツール・情報サイト「Re.design」の運営をスタート。新台評価および商圈分析、機械の導入提案などを行う。座右の銘は「最も強いものが生き残るのではなく、最も賢い物が生き延びるのでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である。」
byチャールズ・ダーウィン

皆様、こんにちは。株式会社Re.design-リデザイン-の小野と申します。今回、10月に開催されるパチスロフェスタ2022でセミナー講師として参加することもあり、YouTuberではないですが、流行りの「コラボ」で登場です。

■僕らのマジハロが戻ってきた!

「マジカルハロウィン Trick or Treat!」の注目ポイントは以下3点。

- ① 演出はお馴染みの「5」の世界観
- ② フラグ機! 特に、6号機ではレアなA+ART!!
- ③ 10月31日ハロウィンの手前に販売!

順番に説明していきます。

【演出はお馴染みの「5」の世界観】

「マジハロ」は今回で9作目になるロングランシリーズ機ですが、ハッキリ言って前作「7」・前々作「6」は不本意な結果に終わってます。背景には、5.9号機・6号機初期という「タイミングの悪さ」があったと思いますが、もう一つ忘れてはならないのは「世界観」。どこら辺がダメだったか?…は割愛しますが、何はともあれ本機は現在貢献中の「5」でおなじみのベルガモットの街に舞台を戻して「これこれ、これがマジハロよ!」の演出に戻ってます。

【フラグ機! 特に、6号機ではレアなA+ART!!】

やっぱりスロッターとして、レア役引いて純粋に次ゲームにアツくなれる「フラグ機」には魅力を感じます。ARTとボーナスが絡んで「自力」で伸びていくのも醍醐味。類似機が登場し難いので、邪魔されず長く設置できるのは助かります。で、何故にA+ARTの販売タイトルが少ないって、そりゃ**適合し難いから**です(リプレイ確率を上げるのは試験上圧倒的に不利)。では、中身を相当に妥協したのか?という今回は「ハズレ」がほとんどない**ブレない純増1.0枚**にするなど工夫が伺えます(1セット消化で「獲得枚数2枚」などのストレス事案はなくなります)。ART平均TYも「5」と同等の①462枚ですので妥協ではないでしょう。

【10月31日ハロウィンの手前に販売!】

「え、それ3つ目のポイントに挙げちゃう?」って思うかも知れませんが、毎回空気読まずにハロウィンから遠い時期に販売してきたマジハロがようやくですよ(それでも、これまで10月31日は休日アウトを超える反応がありました)。今回は、導入7週目にあたるので、丁度テコ入れが欲しいタイミングでもあるでしょう。本機はRTC搭載で、ハロウィンの数日前からメダル投入時にキャラボイスで「もうすぐハロウィンだよ!」って告知してくれますし^^

是非、参考にしてください。…そうそう、6.2号機です。

複数メーカー協賛!!

2022年に向けパチスロを頑張るホール関係者向けイベント!!

完全無料 Zoom オンラインセミナー

パチスロフェスタ 2022

2021年10月開催!!

【機械評価専門コンサルタントが一挙集結!!】

パチスロ型店舗・店長は
パチスロ頑張らないとダメ!!

株式会社エスサポート 三木貴史

株式会社Re.design 小野真二郎



グローバルアミューズメント 株式会社 青山 真将樹

詳細は順次告知!! 参加受付 8月8日(木)から!!

協賛メーカー:A社・B社・C社(予定)